

2025年12月19日

各位

株式会社ほくほくフィナンシャルグループ

カターレ富山とのサステナビリティ事業活動を開始 ～カターレ富山の持続可能なクラブ運営を支援～

ほくほくフィナンシャルグループの北陸銀行（頭取 中澤 宏）は、株式会社カターレ富山（代表取締役 左伴 繁雄、以下「カターレ富山」）とともにサステナビリティ事業活動を開始いたします。

北陸銀行が連携するソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社（代表取締役 二場 誠吾）によるアドバイザリーおよび株式会社アール・エ北陸（代表取締役 高澤 康之）の支援のもと、カターレ富山は、温室効果ガス排出量の算定、カーボンニュートラル計画の策定、省エネルギー診断の実施、エネルギー効率化計画の策定に取り組みます。

当社グループは、環境先進金融グループを目指したカーボンニュートラルの推進や地域企業のサステナビリティ経営の後押しとして金融の枠を超えた支援に取り組んでいます。今後もお客様の企業価値向上および持続可能な環境・社会・経済の実現に向けて取り組んでまいります。

記

1. 取組の背景（カターレ富山の思い）

昨今の猛暑をはじめとした気候変動は、社会活動への大きなインパクトを与えており、サッカー活動についても、暑熱環境下では実施自体を回避する等の対応が始まっています。カターレ富山のホームゲームにおいては、開催日時の調整はもとより、場内アナウンスによる注意喚起、飲料販売の増強等を実施しておりますが、熱中症が疑われる体調不良者が断続的に発生しています。

また、これからの未来を担う子どもたちにとっては、サッカーに限らず夏場の活動が制限される場面が多くみられます。将来にわたって、子どもたちの体験・学びの機会を安全に確保していくことは、社会の課題として認識しています。

こうしたなか、Jリーグは、気候アクションロードマップを定め、各クラブの環境負荷の軽減と同時に、サッカーが持つ力を活かし、サッカーファミリーと共に社会に対してポジティブな影響を生み出していく考え方を示しています。

カターレ富山は、Jリーグが掲げるこのロードマップに呼応し、気候変動がもたらす課題にアプローチする第一歩として、環境負荷の少ない持続可能なクラブ運営を目指す取り組みをスタートさせます。あわせて、サッカークラブとしての発信力を活かしながら、地域のハブとしてファン・サポーターやパートナー企業の皆様を巻き込み、地域社会全体の環境意識を高めてまいります。

2. 取組の概要

(1) 温室効果ガス排出量の算定、カーボンニュートラル計画の策定

| | |
|------|---|
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none">・ クラブ運営における温室効果ガス排出量（スコープ1・2・3）の算定*・ カーボンニュートラルの実現に向けた温室効果ガス排出量削減計画の策定 |
| 支援機関 | <ul style="list-style-type: none">・ 企業名 : ソコテック・サーティフィケーション・ジャパン株式会社・ 代表取締役 : 二場 誠吾・ 本社住所 : 東京都千代田区大手町1丁目7番2号 東京サンケイビル15階・ URL : https://socotec-certification-international.jp |

*算定に当たっては、パーセフォニ社（本社：米国アリゾナ州テンピ）が提供する温室効果ガス排出量可視化サービス「Persefoni Pro」を活用

(2) 省エネ診断、エネルギー効率化計画の策定

| | |
|------|--|
| 活動内容 | <ul style="list-style-type: none">・ クラブの主要活動拠点における省エネルギー診断の実施・ 省エネルギー診断の結果を踏まえたエネルギー効率化計画の策定 |
| 支援機関 | <ul style="list-style-type: none">・ 企業名 : 株式会社アール・エ北陸・ 代表取締役 : 高澤 康之・ 本社住所 : 富山県富山市黒崎75番地1・ URL : https://ra-hokuriku.jp |

3. 該当する SDGs の目標



SDGsはSustainable Development Goalsの略称で、2015年に国連で採択された2030年までに達成すべき17の目標と169の具体的なターゲットを定めた「持続可能な開発目標」です。
ほくほくフィナンシャルグループは2019年4月に「SDGs宣言」を表明しました。

以上

<本件に関するお問い合わせ先>

ほくほくフィナンシャルグループ SX推進部

TEL: 076-423-7331